

弟 「今日、学校でね、同和教育の時間に部落差別の勉強したんだよ。今でも部落差別があるって聞いて驚いちゃった。」

母 「お母さんもこの間、PTAで勉強したところよ。」

姉 「私たちも今日、同和教育の時間あったの。親友のTちゃんね、授業が終わって自分が同和地区の出身だって私に話したよ。」

弟 「ぼくの家は同和地区？」

( ) 「 」

**【留意点】**

- (1) 弟、母、姉の対話を受けて、家族一人一人の、その後の会話を考え合う。
- (2) 子どもたちに、思い込みで教えていることはないか話し合う。
- (3) 子どもに同和問題を語れる大人になっているか語り合う。
- (4) 大人も子どもたちと共に学ぶ。そして、家庭でも学び合う必要性を話し合う。

